

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎都市計画一般の経費

道路整備計画等運営事務	【	道路整備課	】
-------------	---	-------	---

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境の向上及び都市景観等の生活環境の向上を図る。

【事業の内容】

(1) 道路整備計画等運営事務

- ・ 神奈川県都市計画街路事業促進協議会に加入し、国等へ都市計画道路の整備促進と財源確保についての要望活動等を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
80	80	80		0
主な支出内訳				
・ 道路整備計画等運営事務 神奈川県都市計画街路事業促進協議会負担金				80

平成21年度事務事業評価シート

事務事業 No./名称	■サービス部門 都整-16 道路整備計画等運営事務 □支援部門						
事務事業 単 位	ザイムス コード及び 個別事業 名	1149 道路整備計画等運営事務					
主管課	道路整備課	関連課	都市計画課、交通政策課、経営企画課他				
分野名	道路整備						
目標 (目標値)	人・車と環境にやさしい道路網の構築						
人口等の データ	データ区分	20年度	19年度	18年度	備 考		
	人 口	176,484人	175,902人	175,051人	・各年4月1日		
	世 帯 数	77,430世帯	76,536世帯	75,611世帯			
運営資源 状 況	決算値	80千円	60千円	50千円			
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	80千円	60千円	50千円			
	人員配置数	1.1人	1.1人	0.9人			
	人 件 費	10,315千円	11,058千円	8,771千円			
事務事業 運営経費	協働の パートナー						
	総事業費	10,395千円	11,118千円	8,821千円			
	市民1人当 りの経費	59円	63円	50円			
対象者1人 当りの経費							
20年度事務事業の変更点(新規・廃止・縮小した個別事業)/事業仕分けの視点による妥当性の評価							
個別事業名	変更額(千円)	事業の変更点・変更理由			妥当性※		
						※妥当性の評価 ① 必要性なし ② 民間 ③ 国・県 ④ 現行どおり(鎌倉市)	
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
指 標	評 価	年度	19年度	20年度	21年度	22年度	最終年度( 年度)
		目標値					
		実績値					
評価 ◎:目標を達成 ○:目標に向かって前進している △:横ばい ×:後退している ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)							
団体名							

平成21年度事務事業評価シート

創意・工夫・課題等改善状況	課題・問題点	(20年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ※中長期的な道路整備方針の策定については、将来的な交通体系や交通量等の予測が策定の重要な要素となり、土地の権利者等の理解と協力が必要不可欠である。しかしながら、考慮すべき環境及び景観への配慮については、これらと相反しており、そのすり合わせに苦慮している。
	創意・工夫・課題等の改善点 20年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ※短期的な道路整備計画の中で、整合性を考慮し、バランスを図り、取り組みを進めた。
	未解決の課題・問題点	(20年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ※都市計画道路等の整備は、財政面の負担が大きく、また地権者を始めとする住民の理解と協力を得るために多くの時間を要している。 ※環境及び景観への配慮に関する課題が多く、道路整備方針を策定する際の大きな課題になっている。
	今後の方針(対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ※財政的な担保や住民等の理解と協力を得るため、都市計画道路見直しに伴う道路の整備プログラムの作成も視野に入れ、情報公開等の手法により早い段階から広く住民等へ計画等を提示する。

一次評価(課長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	道路交通網を明確にするため、関連各課との協議・調整を行い、道路整備方針の策定について検討して行く。				
担当課長氏名:		道路整備課長 坂巻 龍馬			

二次評価(部長評価)

今後の方向性	A:充実又は拡大 B:現状のまま継続	C:統合又は縮小 D:廃止又は休止	E:事業完了	B	改善の必要性 有
	道路交通網を明確にするため、関連各課との協議・調整を図り、道路整備方針策定の検討をする。				
担当部名	都市整備部	部長名	高橋 洋		